

# 自主創造の基礎（令和5年度～）

責任者名：三澤 麻衣子

学期：前期

対象学年：1年

授業形式等：演習

## ◆担当教員

三澤 麻衣子(医療人間科学 専任講師)

佐藤 紀子(健康科学 准教授)

鈴木 秀則(基礎自然科学分野 (物理) 専任講師)

渡辺 孝康(基礎自然科学分野 (化学) 専任講師)

尾崎 愛美(衛生学 助教)

上原 任(医療人間科学 専任講師)

田嶋 倫雄(英語 准教授)

藤田 智史(基礎自然科学分野 (生物) 教授)

## ◆一般目標 (GIO)

- 1 学部・学科に関わらず、本学の学生として共通して身につけるべき学修姿勢や修得すべきスタディ・スキルを身につける。
- 2 多様な存在を認め、それぞれの価値観を尊重しながら他者と関わり合うことで、自身の立ち位置を相対的に理解する。
- 3 自ら設定した課題について論理的かつ批判的に検討を行いながら、自身の考えを伝える力を身につける。

## ◆到達目標 (SBOs)

本科目では、TARGETを3つあげ、それぞれ学修目標を定めています。

[TARGET1] 日大生としてのアイデンティティ

- 日本大学についてさまざまな角度から概観することで、本学で学ぶ意味や意義について、説明することができる。
- 所属学部・学科の特色を理解し、在学中の目標設定を行い、その内容を説明することで学びの意識を高めることができる。

[TARGET2] コミュニケーションとインクルージョン

- さまざまなコミュニケーションの在り方や特徴を説明することができる。
- 自身の考えを適切に伝達することができる。
- 他者の意見を傾聴することができる。
- 多様な存在や価値観を受容し、尊重しながら、協働することができる。

[TARGET3] 論理的・批判的思考とアウトプット

- グループまたは個人でプレゼンテーションのテーマを設定することができる。
- 他者の意見を尊重しながら多角的かつ批判的に自身の考えを見直し、伝えることができる。
- グループワークでの検討結果を論理的に構成し、他者へ説明することができる。
- 他者の成果物に対して、自身の考えを示すことができる。

## ◆評価方法

各授業回で「振り返りシート」の記入を行う。本シートは、当該授業回での参画度や理解度が反映されていることから、これを主たる成績評価対象とし記入内容を評価する（50%）。加えて、課題（事前・事後学修含む）（30%）、学修態度（20%）を評価対象とし、最終評価は評価基礎点に基づき、成績評価表示（S, A, B, C）で判定する。

全授業の受講が前提であり、受講できなかった場合は、授業担当教員に自ら連絡をとり、補完授業の指示を受けること。受講が完了しない場合や、提出物の遅れや未提出は大幅な減点の対象となるため、自身の受講状況の把握を怠らないこと。

なお「振り返りシート」により各自の到達を確認するとともに、到達度に応じた教員によるフィードバックを授業内または本教科サイト内において適宜行う。

#### ◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
三澤 麻衣子	月曜日 12:00~13:00 医療人間科学分野（3号館3階）	oshikawa.maiko_at_nihon-u.ac.jp *_at_をアットマークに変更してください	
佐藤 紀子	月曜日 17:00~18:00 健康科学分野（3号館3階）	sato.noriko_at_nihon-u.ac.jp 03-3219-8162 *_at_をアットマークに変更してください	
鈴木 秀則	金曜日 17:00~18:00 物理学研究室（3号館4階）	suzuki.hidenori_at_nihon-u.ac.jp *_at_をアットマークに変更してください	
渡辺 孝康	金曜日 12:00~13:00 化学研究室（3号館5階）	watanabe.takayasu_at_nihon-u.ac.jp *_at_をアットマークに変更してください	
尾崎 愛美	月曜日 12:00~13:00 衛生学講座(本館7階)	ozaki.manami_at_nihon-u.ac.jp *_at_をアットマークに変更してください	

#### ◆授業の方法

日本大学の全学共通科目である。

[TARGET1] 日大生としてのアイデンティティ

[TARGET2] コミュニケーションとインクルージョン

[TARGET3] 論理的・批判的思考とアウトプット

という3つの TARGET について、日本大学の初年次の学生を中心に、理解を深めていく。

第1回～第5回までは個人ワーク中心、第6回～第15回まではグループワーク中心の授業としているが、各授業回で、課題に対するディスカッションの時間がとられており、各自の意見を述べてもらう。

授業の実施場所は、第1回～第14回、第19回～第30回は歯学部において行うが、6月4日(日)(予備日6月11日(日))の第15回～第18回は、日本大学ワールド・カフェ(N-Mix)と呼ばれ、全学合同で行う授業のため、各々の場所や時間は、後日本部から指示される。

#### ◆アクティブ・ラーニング

本授業は、各授業回で、課題についてディスカッションをする時間が設けられており、学生同士で話すことで、能動的に学修スキルを高めていく。そのため、よいディスカッションの場となるように、積極的に話し合いに参加すると同時に、話し合う相手への配慮を心掛けること。

#### ◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
参考書	『ミライヨツクル～Learning Guide～』	企画・編集 全学 FD 委員会教育情報 マネジメントワーキ ンググループ	日本大学 FD 推進セ ンター	2023

#### ◆DP・CP

コンピテンス3：リサーチマインド

コンピテンシー：3-1, 3-2

対応するディプロマポリシー：DP3

コンピテンス8：生涯学習

コンピテンシー：8-1

対応するディプロマポリシー：DP8

#### ◆準備学習(予習・復習)

演習内容に関連する本や新聞記事を読んでおくと理解が深まる。

演習を行うにあたり、事前課題や事後課題を提示する。事前課題を行うことで、その後の演習の理解につなげてほしい。事後課題を行うことで、自己の省察につなげてほしい。

#### ◆準備学習時間

授業時間半分相当を充てて予習あるいは復習を行うこと。

#### ◆全学年を通しての関連教科

Approaches to Basic Research (第3学年前期)

#### ◆予定表

6月4日(日)(予備日6月11日(日))に行う第15回～第18回は、日本大学ワールド・カフェ(N-Mix)と呼ばれ、全学混合で行う授業のため、各々の授業の場所や時間の指示が本部から指示される。予定を空けておくこ

と。

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1, 2		4.10	5 ～ 6	1. スタートアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目の意味や意義, 位置づけについて要点をとらえることができる。</li> <li>・大学生としての学びの在り方について理解し, 説明することができる。</li> </ul>	三澤 麻衣子 佐藤 紀子 鈴木 秀則 渡辺 孝康 尾崎 愛美	LL-01 生涯学習に向けて自らの将来を構想し、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。
3. 4	A (学年番号奇数)	4.17	5 ～ 6	2. 歯学部を知る ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属学科の特徴を理解し, 説明することができる。</li> <li>・卒業後のキャリアをイメージし, 段階的な目標を設定することができる。</li> </ul>	三澤 麻衣子	LL-01 生涯学習に向けて自らの将来を構想し、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。
3. 4	B (学年番号偶数)	4.17	5 ～ 6	3. 歯学部を知る ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属学部の施設である図書館の利用方法を理解することができる。</li> </ul>	佐藤 紀子 鈴木 秀則 渡辺 孝康 尾崎 愛美	LL-01 生涯学習に向けて自らの将来を構想し、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。
5, 6	A (学年番号奇数)	4.24	5 ～ 6	3. 歯学部を知る ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属学部の施設である図書館の利用方法を理解することができる。</li> </ul>	佐藤 紀子 鈴木 秀則 渡辺 孝康 尾崎 愛美	LL-01 生涯学習に向けて自らの将来を構想し、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。
5,	B	4.24	5	2. 歯学部を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属学科の特徴を理解し, 説明す</li> </ul>	三澤 麻衣	LL-01 生涯

6	(学年番号偶数)		～ 6	①	<p>ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後のキャリアをイメージし、段階的な目標を設定することができる。</li> </ul>	子	<p>学習に向けて自らの将来を構想し、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。</p>
7. 8		5.1	5 ～ 6	4. 日本大学を知る①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学への入学動機について振り返ることができる。</li> <li>・本学の歴史や特色を理解し、説明することができる。</li> </ul>	三澤 麻衣子 佐藤 紀子 鈴木 秀則 渡辺 孝康 尾崎 愛美	LL-01 生涯学習に向けて自らの将来を構想し、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。
9. 10		5.8	5 ～ 6	5. 日本大学を知る②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学の総合大学としてのメリットを理解し、説明することができる。</li> <li>・在学中の大きな目標を設定することができる。</li> </ul>	三澤 麻衣子 佐藤 紀子 鈴木 秀則 渡辺 孝康 尾崎 愛美	LL-01 生涯学習に向けて自らの将来を構想し、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。
11 .1 2		5.15	5 ～ 6	6. コミュニケーション・スキルの錬成①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生に求められるネチケットを理解し、説明することができる。</li> <li>・自身の考えを他者に伝えることができる。</li> <li>・他者を尊重し、傾聴することができる。</li> </ul>	三澤 麻衣子 佐藤 紀子 鈴木 秀則 渡辺 孝康 尾崎 愛美	PR-03 社会規範はもとより、歯科医師法、関連法規、歯科医師に求められる規範・倫理を遵守できる。
13 .1 4		5.22	5 ～ 6	7. コミュニケーション・スキルの錬成②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KJ 法による協働ワークを通して、複数の学生の考えを集約することができる。</li> <li>・グループでの議論を通して、自身の考えを深めることができる。</li> </ul>	三澤 麻衣子 佐藤 紀子 鈴木 秀則 渡辺 孝康	PR-06 同級生や後輩、同僚、チーム構成員に対して協調的にふる

						尾崎 愛美	まうことができる。
15 ～ 18		6.4	1 ～ 9	8. ワールド・カフェ (N-MIX) *日曜日 (6/4)	・学部を越えた交流を通して、本学のスケールメリットをあらためて認識することができる。	渡辺 孝康 佐藤 紀子 鈴木 秀則 尾崎 愛美 上原 任 田嶋 倫雄 中野 善夫 藤田 智史 三澤 麻衣子	LL-01 生涯学習に向けて自らの将来を構想し、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。 PR-06 同級生や後輩、同僚、チーム構成員に対して協調的にふるまうことができる。
19 ,2 0		6.5	5 ～ 6	9. 論理的・批判的思考の錬成①	・プレゼンテーションの目的や手法について理解し、説明することができる。 ・プレゼンテーションの構成や作成のステップについて理解し、説明することができる。 ・グループでの議論を通して、テーマを決定することができる。	鈴木 秀則 佐藤 紀子 渡辺 孝康 尾崎 愛美 三澤 麻衣子	RE-01 自らの行動を論理的、批判的に振り返り、生涯に向けた自己研鑽に取り組むことができる。
21 ,2 2		6.12	5 ～ 6	10. 論理的・批判的思考の錬成②	・資料や先行研究を調べ、得られた情報を整理することができる。 ・正しい引用の方法について理解し、説明することができる。 ・グループでの議論を通して、提示資料の章立てを行うことができる。	鈴木 秀則 佐藤 紀子 渡辺 孝康 尾崎 愛美 三澤 麻衣子	RE-01 自らの行動を論理的、批判的に振り返り、生涯に向けた自己研鑽に取り組むことができる。
23 ,2 4		6.19	5 ～ 6	11. 検討結果のアウトプット①	・聴き手に「見やすい」提示資料の技巧について理解し、説明することができる。 ・章立てに従って、提示資料を作成することができる。	佐藤 紀子 鈴木 秀則 渡辺 孝康 尾崎 愛美 三澤 麻衣子	RE-01 自らの行動を論理的、批判的に振り返り、生涯に向けた自

						子	己研鑽に取り組むことができる。
25,26	6.26	5～6	12. 検討結果のアウトプット②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴き手に「分かりやすい」発表の技術について理解し、説明することができる。</li> <li>・模擬発表の実践を通して、提示資料や発表方法について改善を行うことができる。</li> </ul>	佐藤 紀子 鈴木 秀則 渡辺 孝康 尾崎 愛美 三澤 麻衣子	RE-01 自らの行動を論理的、批判的に振り返り、生涯に向けた自己研鑽に取り組むことができる。	
27,28	7.3	5～6	13. 検討結果のアウトプット③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループによるプレゼンテーションを行うことができる。</li> <li>・他グループのプレゼンテーションを評価することができる。</li> <li>・他グループとの比較を通して、自グループの改善点を見出すことができる。</li> </ul>	三澤 麻衣子 佐藤 紀子 鈴木 秀則 渡辺 孝康 尾崎 愛美	RE-01 自らの行動を論理的、批判的に振り返り、生涯に向けた自己研鑽に取り組むことができる。	
29,30	7.10	5～6	14. 総括・振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目における自身の学びを客観的に振り返り、各到達目標についての自己評価を行うことができる。</li> <li>・本科目における達成状況を参照しながら、後学期に向けた具体的な目標を設定することができる。</li> </ul>	三澤 麻衣子 佐藤 紀子 鈴木 秀則 渡辺 孝康 尾崎 愛美	<p>LL-01 生涯学習に向けて自らの将来を構想し、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。</p> <p>RE-01 自らの行動を論理的、批判的に振り返り、生涯に向けた自己研鑽に取り組むことができる。</p>	

